

## 低出生体重児・早産児のまとめ

## ○低出生体重児数の経年変化

\*全出生児数:4ヵ月児健診対象者

年度	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
全出生児数	237	245	224	260	228	300	280	258
低出生体重児数	30	30	23	28	22	25	31	17
%	12.7	12.2	10.3	10.8	9.6	8.3	11.1	6.6

## ○在胎週数の状況(出生体重 2500g 以上の早産児を含む)

	超早産児	早産児		正期産児	合計
週数	満28週未満	満28週～ 満32週未満	満32週～ 満37週未満	満37週～ 満41週未満	
人数	0	1	22	15	38
%	0.0	2.6%	57.9%	39.5%	100%

## ○早産・満期産別、胎内発育状況(出生体重 2500g 以上の早産児を含む)

在胎 週数別	分類	出生体重					合計
		1,000g 未満	1,000～ 1,500g未満	1,500～ 2,000g未満	2,000～ 2,500g未満	2,500g 以上	
37週 未満	SFD	0	1	1	0	0	2
	LFD	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	11	8	20
37週 以上	SFD	0	0	2	4	0	6
	LFD	0	0	1	5	0	6
	その他	0	0	0	4	0	4
合計		0	1	5	24	8	38

※ SFD:在胎週数に比べて出生体重・身長とも10パーセンタイル未満の児

LFD:在胎週数に比べて出生体重が10パーセンタイル未満の児

その他:在胎週数に比べて出生体重が10パーセンタイル以上の児

※ 在胎週並びに出生体重が少なく、かつ在胎週数に見合った体重増加がない場合は、将来生活習慣病のリスクが高くなり、出生後の管理が必要となる。

## ○非妊時BMI別妊娠中体重増加の状況(出生体重 2500g 以上の早産児を含む)

非妊時BMI	妊娠中の体重増加				合計
	不良	標準	過多	不明	
やせ(18.4以下)	1	2	0	0	3
標準	6	11	4	4	25
肥満(25.0以上)	2	0	0	2	4
合計	9	13	4	6	32

※ 表は低出生体重児台帳の内訳

- ※ 妊娠中の体重増加判定方法: BMI別の妊娠中体重曲線の上限以上を過多、下限以下を不良とする。
- ※ 非妊時やせかつ妊娠中の体重増加不良の者は低栄養状態のため、将来生活習慣病のリスクとなる。

<まとめ>

- ・ 低出生体重児や早産児の背景には、母体要因(子宮疾患、不妊治療、喫煙等)や児要因(双胎等)、家族歴や家族の喫煙等、様々な要因がある。母子手帳交付時に適切なリスクアセスメントを行い、支援していく必要がある。
- ・ 低出生体重児発生予防には妊婦がリスクを自覚し、妊娠中に必要な栄養を摂取した上で、体重増加、血糖や血圧を適切に管理していくことが重要である。
- ・ 令和 2 年度末に妊娠中の体重増加指導目安が変更された(参考参照)。今後はそれを基に低出生体重児予防指導を実施する。